

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年12月16日 (月)

NO. 1022号

本号3頁

野党「桜」追求本部

閉会幕引き許さないと、質問状や懇親会ホテル訪問

野党四党などの「桜を見る会」問題追求本部は10日、「桜を見る会」に関する疑問を巡り、8項目にわたる質問状を内閣府に提出しました。前夜祭が行われたホテルニューオータニの聞き取り調査訪問や、幹部らによる街頭演説も行っています。9日の臨時国会閉幕を機に問題の幕引きを図ろうとする政府・与党の思惑を阻止し、追及を続行していく姿勢を鮮明にしました。

10日の内閣府への質問は、桜を見る会の招待客の功労・功績をチェックしていたかどうかや、今年の招待客名簿の電子データが廃棄された時期など。衆院内閣委員会の野党筆頭理事を務める大島敦氏は「来週にも回答してもらおう。閉会中もしっかり審議したい」と強調しました。

野党4党などによる追及本部は、「桜を見る会」の前夜に首相の後援会が懇親会を開いた東京都千代田区のホテルニューオータニを訪れ、宴会担当者から一般的な宴会開催と支払いの流れをについて、聞き取り調査を行いました。

ホテル側は「個別のことは答えられない」とした上で「基本的には明細書をつくり、七年間は保存している」と説明しました。懇親会の費用を示す明細書はないとする首相の説明について、調査した議員は「不自然だ。首相は説明責任を果たすため、ホテルに再発行を依頼して、明細書を示すべきだ」と訴えています。



都内で行った街頭演説では、共産の小池晃書記局長が「首相は疑惑から逃げ回っている。疑惑追及は年が明けても終わらない」と声を上げました。

野党が求める招待客名簿のデータ復元について、菅官房長官は記者会見で「内閣府からは、紙媒体も電子データも全て削除しているとの報告を受けており、新たな調査を行うことは考えていない」と話し、逃げに走っています。

宮城憲法会議など、宮城3団体が「桜を見る会」問題で声明だす!

「桜を見る会」問題の徹底的な真相究明と責任追及を求める声明

11月8日に総理主催の「桜を見る会」が国会で問題にされて1ヶ月が経過した。この間、政府与党は異常なまでに問題の幕引きを画策してきたが、むしろ問題の深刻さが日々明らかになっている。

「桜を見る会」問題は、安倍晋三首相が国民の血税を使って多数の地元後援会員を招待したことやホテルニューオータニで開催された「前夜祭」について、公職選挙法違反や政治資金規正法違反、贈収賄といった各疑惑にとどまらず、安倍政権が消費者被害の加害者や反社会勢力の人物を招待した問題、「私人」である首相夫人が多数の知人を招待していた問題など、政権の根幹が問われている。

さらに、問題発覚後は、安倍首相が虚偽の答弁を行い、それが露呈するや、突如来年の「桜を見る会」を中止すると言い出し、その後は、「ぶら下がり」の記者会見を繰り返し、政府与党(自民・公明)は、野

党の強い要求があるにもかかわらず、一問一答で答えなければならない予算委員会の快哉を拒否し続け、国会延長の動議も否決した。参加者名簿も情報開示要求があったその日に破棄され、その復元すら拒否している。これは政権による証拠隠滅行為と言わざるを得ない。

安倍政権には国民に対する説明責任を果たそうとする姿勢は全くみられない。また、与党(自民・公明)の国会における真相究明の妨害も国民に対する背信行為であり許されるものではない。

私たち法律家を中心とした3団体は、国会議員、マスメディア、検察・警察に対して、「桜を見る会」問題の追求を求めるとともに、私たち自身も、法律専門家として、全国の弁護士に呼びかけて、この問題の徹底的な真相究明と責任追及を行うことを声明する。

2019年12月9日 自由法曹団宮城県支部
青年法律家協会宮城支部
宮城憲法会議

宮城憲法会議より、声明の発表に、次のような報告が届きました。

臨時国会閉会の12月9日、自由法曹団宮城県支部・青年法律家協会宮城支部・宮城憲法会議連名で、『桜を見る会』問題の徹底的な真相究明と責任追及を求める声明」を発表し、記者会見を行いました。青法協支部長の高橋春男弁護士、宮城憲法会議事務局長の鶴見聡志弁護士、団支部長の私の3名で、宮城県庁内の県政記者クラブで行いました。

最初は、河北・毎日の記者が聞いている程度でしたが、話しているうちに、どんどん記者が集まり、最後は産経新聞の記者からも名刺を頂きました。マスコミの関心が高いことを実感できて良かったです。翌日、河北新報、毎日新聞宮城県内版、朝日新聞宮城県内版での報道を確認しております。

今回は「弁護士は黙っていないぞ」という決意表明的な記者会見でしたが、できるだけ早く体制を整え、具体的な活動内容が示せるようにせねばと思いました。また、弁護士だけでなく、「この問題に関心と怒りをもっている全国各地の方々も参加できる『運動の組み立て』」をどうすれば良いか、まだ模索中です。とりあえず、「宮城はこれから本格的に闘うぞ」というお知らせです。

憲法13・24条 フラワーデモ輪広がる “性暴力ない社会に”

性暴力のない社会を求める「フラワーデモ」が11日、全国各地で取り组まれました。

◇雨が降った東京駅前では、花を手に集まった人たちがスタンディング。性暴力被害の当事者らがスピーチして、「社会を変えるまで、これからも声を上げ続けよう」とアピールしました。

デモの冒頭にマイクを握った呼びかけ人のひとり、編集者の松尾亜紀子さんは、全国にフラワーデモが広がったことについて「本当にすごいことだと思います。47都道府県すべての開催をめざしたい」と発言。「この取り組みが、社会を変えることにつながると思います。これからもがんばりましょう」と話しました。

日本共産党の藤野保史衆院議員、吉良よし子参院議員が参加しました。

◇徳島駅前であった。花を手に集まった約20人は、順番にマイクを回す「リレートーク」で、性差別に対する思いや被害体験を共有しました。幼少期に年上の男児から被害を受けたという30代の女性は「自分のような思いをする人がいなくなってほしい」と訴えました。

「若者向けの漫画などにも、男性が女性を支配してもいいかのような表現があふれる。無意識のうちに性差別が刷り込まれるのではないか」「家庭内でも多くの女性が性暴力被害に遭っているのを知ってほしい」との意見もありました。

◇今年3月に相次いだ性暴力事件の無罪判決に抗議して、作家の北原みのりさんらがSNSなどで呼びかけて4月から始まったフラワーデモ。毎月11日に行動を継続し、回数を重ねるごとに開催都市が増え続けています。今月は、少なくとも32都市で呼びかけがありました。



各地のとくみ

神戸 安倍改憲反対、戦争法廃止などを訴え、パレード

安倍改憲反対、戦争法廃止などを訴えて兵庫県憲法共同センターは10日昼、神戸市・三宮から元町をパレードしました。

東遊園地の出発集会であいさつした和田進神戸大学名誉教授は、閉会した臨時国会について、10月末の閣僚2人の辞任や「桜を見る会」疑惑など安倍政権の腐敗が赤裸々になるなかで、憲法審査会での国民投票法改正案採決ができなかったと指摘するとともに、安倍首相は9日の会見で「憲法改正は、必ずや私の手で成し遂げていきたい」とあらためて執念を示していることを紹介。野党による「桜」疑惑追及が安倍政権を追い詰めており、年末、来年の通常国会へ向け、「安倍政権を退陣に追い込むたたかいを」と訴えました。

また、亡くなったペシャワール会の中村哲医師を追悼しました。

参加者37人が「ストップ憲法改悪」「安倍政権はもう退陣」とコールし、パレードしました。

青森 「戦争法廃止を求める三八連絡会」 3000万人署名のロングラン行動

八戸市内のスーパー前で、太平洋戦争開戦から78年の8日、青森県の「戦争法廃止を求める三八連絡会」は、「安倍9条改憲NO!3000万人署名」のロングラン行動を繰り広げました。

行動は午前10時から午後3時まで。新日本婦人の会や9条の会、教職員組合、生健会、共産党市議団ら23人が行動し、142人が署名しました。

気温1度の中、最初の1時間は、毎年恒例となっている三八母親連絡会による「赤紙(臨時召集令状)」配布宣伝も加わり、来店者へ「戦争反対、憲法9条を守りましょう」と一斉に声をあげて、署名を呼びかけました。

年末を控えた日曜日とあって来店客も多く、配られた赤紙に「現物を見たことがあるよ」と反応する高齢者も。「安倍首相が出てきてから、ダメになった。早くやめてほしい」と怒りの声が寄せられ、署名する買い物客や市民が次から次へと足を止め、署名の輪が広がりました。

大阪 各地で学習会や緊急街頭宣伝など、旺盛なとくみ展開!

—大阪憲法しんぶん速報版 No. 532より—

西成区 「戦争と報道の現場から」西谷文和さん招き学習会

西成区民アクションは12月6日西谷文和さんを招き学習会を開催しました。西谷さんはアフガンで中村医師が銃撃され死亡したことに触れ、現地での状況が悪化している中で活躍されていたことに悲しみをもって話されました。そして、グレタさんは今や世界のトレンドとなっており若者は元気。「忘れない、あきらめない、だまされない」ようにと話を締めくくられました。

(西成区民アクション活動交流ニュースより)

12区市民連合 安倍アウトビラ11万枚作成 野党連合政権めざし1万人の賛同運動開始!

12区市民連合は、次期衆議院選挙を「市民と野党の共闘」で安倍政権を倒し、野党連合政権を誕生させるため、アピール呼びかけ人拡大に取り組み120人をこえました。アピールビラ11万枚が完成し、賛同者1万人をめざす取り組みに全力をあげます。(寝屋川「革新懇ニュース」より)

岸和田駅前・緊急街頭宣伝 「桜を見る会」徹底究明!

11月26日午後6時より、南海岸和田駅前、「桜を見る会」徹底究明!安倍首相退陣!を訴える、緊急街頭宣伝を実施しました。主催は阪南地区協、岸和田労連、戦争法に反対する阪南地域連絡会。緊急の呼びかけにもかかわらず20人が行動参加。横断幕を持ち、最新チラシを配布しました。日本共産党前衆議院議員宮本たけしさんをはじめ、6名がマイクを持ちました。ビラの受け取りはよく、関心の高さを感じられました。(大阪労連阪南地区協ニュースより)